

みんなではまらっせん 2018年度 立教たかたコミュニティ大学開催予定

会場：陸前高田グローバルキャンパス

「立教たかたコミュニティ大学」は、陸前高田グローバルキャンパスの開設を記念して、立教大学が主催する市民の皆さま向けのプログラムです。立教ならではの特色あるプログラムを開催しています。

2018年度のテーマ：〈いきる〉を考える

〈いきる〉とはどういうことなのでしょう。私たちは本当に〈いき〉ているのでしょうか。2018年度立教たかたコミュニティ大学では、私たちにとって最も身近で最も根源的な〈いきる〉という問題を、東日本大震災という大きな災害を経験した陸前高田の地を〈いきる〉みなさんと共に、考えてみたいと思います。

予約不要
参加費無料

第1回 記憶の継承について考える —原爆体験の継承の現場から

講師：小倉 康嗣 (立教大学社会学部准教授)

開催時期：2018年7月29日(日)
13:00～17:00



記憶の継承とはなにか。なにを、なんのために継承するのか。広島で10年以上続いている、高校生が被爆体験証言者の原爆体験を対話を重ねて絵に描いていく実践から見えてきたものを読み解き、陸前高田のみなさんと記憶の継承の根源にあるものについて共に考え、共有できるような時間をもちたいと思っています。

第2回 正多角形を菱形で埋め尽くす!

講師：青木 昇 (立教大学理学部教授)
杉山 健一 (立教大学理学部教授)

開催時期：2018年11月4日(日)
13:00～14:40



この講座では、デザイン(ロゴマーク)の背景にある数学についてお話をいたします。実際に、参加される方々にもトライして頂きます。そこから見えてくるとても有名なデザインは?答えは講座を聴いてのお楽しみです。

第3回 パラスポーツ ゴールボール体験 音の世界を体験してみよう

講師：若杉 遥氏
(ロンドンパラリンピックゴールボール
金メダリスト、立教大学社会学部卒業)

江黒 直樹氏
(元全日本女子ゴールボールチームヘッドコーチ)



開催時期：2018年12月16日(日)
13:00～15:45

ゴールボールというスポーツを知っていますか? このスポーツは視力を使わず、ボールの中に入っている鈴の音、コートラインの凹凸や仲間の声を頼りに競技を行う、パラリンピックの正式種目の1つです。本講座では、ゴールボールの体験教室を行い、この競技の魅力をお伝えしたいと考えています。

※子どもから高齢の方まで楽しめる内容となっております。
動きやすい服装でお越しください。運動ができる室内履きをご持参ください。

第4回 新しいモノサシ SDGsで 世界、地域を考えよう

講師：国谷 裕子氏
(東京藝術大学理事、慶応義塾大学
特別招聘教授、キャスター)

開催時期：2019年2月23日(土)
13:00～15:10



2015年9月、国連全加盟国によって採択された「持続可能な開発目標 SDGs」の2030年達成を目指し、世界中の政府、自治体、企業、民間団体、協同組合などが様々な活動を行なっています。なぜこのSDGsは生まれ、そしてこの共通のモノサシを私たちはどう使いこなせばいいのでしょうか。地球の、そして地域の持続性確保を目指して、SDGsを考えます。

3回以上出席していただいた方には、
立教大学より修了証書を授与いたします



立教大学陸前高田サテライト長
池上 岳彦 (統括副総長、経済学部教授)



立教大学陸前高田サテライトでは、昨年度から「立教たかたコミュニティ大学」を開講しています。陸前高田市民の皆様にとって、日頃からもっと知りたい、学びたいと思うことを深めていただく機会になることを願っております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

問い合わせ先：立教大学陸前高田サテライト事務局 TEL 03-3985-4967
市担当課：陸前高田市企画部企画政策課 TEL 0192-54-2111 (内線 172)



第1回



小倉 康嗣

立教大学社会学部准教授。1968年生まれ。まわり道のすえ、慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士(社会学)。専攻は社会学・ライフストーリー研究。主な著書に『高齢化社会と日本人の生き方—岐路に立つ現代中年のライフストーリー—』(慶應義塾大学出版会)、『被爆者調査を読む—ヒロシマ・ナガサキの継承—』(慶應義塾大学出版会/共著)、『原爆をまなざす人びと—広島平和記念公園 8月6日のビジュアル・エスノグラフィ—』(新曜社/編著、近刊)など。立教大学社会学部で4年間にわたって開講された授業「震災のフィールドワーク: 震災経験のライフストーリーをききとり、記録する」や、震災の年から現在まで続けている東日本大震災 RDY(立教生ができることをやろう)支援プロジェクトを担当。

第2回



青木 昇

数学の授業における私の理想形は「思わず引き込まれる授業」ですが、現実には「睡魔に引き込まれる授業」になっています。今回のお話では、少しでもその理想形に近づけたら嬉しいです。



杉山 健一

学生に分かりやすく興味を持って貰えるような授業をするべく日々奮闘中です。今回の講演では、日々の努力の成果をお見せできれば、と考えております。

第3回



若杉 遥

1995年8月23日生まれ。2018年3月立教大学社会学部卒。中学2年生の時に、病気が原因で視覚障害となり、その後学校の教員からの勧めでゴールボールを始める。2012年ロンドンパラリンピックに出場し金メダルを獲得。2016年リオデジャネイロパラリンピック5位入賞。現在も競技活動を中心に活動を行っている。

江黒 直樹

視覚障害のスポーツに携わり28年。中でもゴールボール競技では2004年アテネパラリンピック銅メダル、2012年ロンドンパラリンピック金メダルのヘッドコーチとして出場。現在は、男子チームのコーチを担当。ゴールボールの強化のみならず、各地区の普及活動にも力を注ぎ、地元埼玉では初・中級者を中心に練習会や大会の計画をたて実施している。2020年以降、「障害スポーツ」が「生涯スポーツ」に変わるよう活動を行っている。

第4回



国谷 裕子

米ブラウン大学卒業。NHK衛星ワールドニュースや「NHKスペシャル」等のキャスター。1993年から2016年3月までNHK「クローズアップ現代」のキャスターを担当。現在、東京藝術大学理事、慶應義塾大学特別招聘教授、自然エネルギー財団理事、FAO(国連食糧農業機関)親善大使を務める。16年からSDGsの取材・啓発活動を行っている。02年菊池寛賞、11年日本記者クラブ賞受賞。著書に「キャスターという仕事」(岩波新書)。



陸前高田グローバルキャンパス

〔愛称：たかたのゆめキャンパス〕とは…

陸前高田市の協力のもと、岩手大学と立教大学により開設された交流活動拠点です。国内外から学生や研究者、企業や行政関係者など多くの人々が集い、市民の皆様と相互の交流をはぐくむ場所であるとともに、地域の方に広く開放された施設となっています。誰でも無料で利用できるラウンジのほか、イベント・会議といった用途に合わせて、モンティ・ホール(講堂)、ワークショップルーム、多目的室などをレンタルしていただけます。詳細はwebサイト(<https://rtgc.jp/>)等でご確認ください。

住所：岩手県陸前高田市米崎町字神田 113 番地 10

(旧陸前高田市立米崎中学校)

問い合わせ先：陸前高田グローバルキャンパス事務局

TEL 0192-47-3901

E-mail contact@rtgc.jp

